

19/7/16 大村秀章愛知県知事定例記者会見 名古屋城部分

(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

朝日:朝日新聞の岩尾ですよろしくお願ひします。

名古屋城の関連でうかがいます。

名古屋城の木造天守化をめぐる先日の知事の会見の発言をめぐりまして、河村たかし名古屋市長が「市長より知事の方は上で王様だと思っている」などと反発しております。

こうした河村たかし市長側からの反発についてはどのようにお考えでしょうか。

大村知事:あの、はい新聞報道等等でもですね拝見いたしまして、何を言っておられるか、まあ議事録等でもですね少し手に入れましてね、私のことについていろいろ言われておりますので入手しましていろいろ拝見いたしました、私の率直な感想としてずいぶんエキサイトして話しているなということに驚いたということでございます。

またいつものように話をすり替えておられるので、河村さんらしいなと思ったということですが、まず前提としてですね、私はこの今回の名古屋城についてのですね。

事業についての河村さんおよび名古屋市の行為、行為についてね。

やり方やってきたことについて私は事実関係を基に「これはこうじゃないのか」ということをですね、指摘をさせていただいた。行為について指摘させていただいた。

だから河村さんがどうのこうのとは言っておりません。にも関わらずですね。

というかですからそういう意味では、その行為について私が言ってることについてですね、指摘したことについてお答えいただかなきゃいけないんですが、なんかその話をすり替えてですね、何か私が王様だとかですね、上から上だと思ってるんじゃないかといって、まあ個人攻撃をされる、私の人格攻撃をされるということは極めて遺憾だなというふうに思います。私は河村さんにそういうことを言われる筋合いはないんでね。

それはやはりいかなものか、公人としての発言としてはですね如何なものか、そういうふうと言われるとじゃあ私も言いますよということになるんですね、なるんです。それは売られたら売られたらそれはお答えせざるをえないということになりますよねそれはね。

まあ河村さんこれまでの政治生活ずーっとこういう70年間これでやってきたんでしょう、そうやって。言われたことについて真正面に答えずにすり替えて、で人格攻撃個人攻撃をしてね、よしとやってきたんでしょう。だけどこれは通用しませんよ。

私が申し上げてるのはですね、この行為についてなんです。ですからそのことをさらに指摘をさせていただきますとね、事実関係に基づいてですよ、あくまでも事実関係に基づいて指摘をさせていただきますと、河村さんコメントの中でね、例えば文化庁の許可を「信じて」とかね、「許可するんでしょう」とかですよ、「日程調整については行われていると思いますけど」と言っておられるんですね。

なかなか言葉尻を捕まえられないように、そこはうまいこと、ぼやかして言うておられるなと思いますが、核としてですね、日程調整をしているとは言ってないですね。

許可が出るとも言ってないですね、言ってないんです。だからそういう協議をしてないからですよ。していないからなんです。

だから、そこについてはですね、やはり私は事実関係を指摘しているので、それについてですね、はっきりとお答えをすべきではないか、というふうに思います。

最初冒頭ね、文化庁についてどうですかっていうと「私ども信じておりますんで」と言っているんですね、「信じてる」っていうんじゃないじゃ困るんですね。

「ちゃんとやってますと、こういうふうに協議を進めているんです」と言っていたかなきゃいけないんですよね。

次に、名古屋城の関連の第三専門調査会の日程調整というのは実際に行われているのでしょうかと言われたら「行われていると思いますけど。当局は知っているかどうか知りません。私そこにはなかなか具体的に上がってきませんね」という言い方しかしてないんですね。この当局に「じゃそこで答えろ」といったら答えてないんですね。

なんで答えられないかっていうとこの日程調整してないからです。していません。していません。だから、「していると思いますけど」という形ですね、言葉尻をとらまえないように、うまいこと言うてるんですよ。ということなんです。

それから、ですね、要は文化庁の許可が得られなかった等々私の指摘についてはですね、「何を言ってるんですか」なんて「誠実にやってきた」と言ってるんですけど。

「ちゃんと協議している」とは言ってないですね。最後ね「許可になるでしょう、それはなるでしょう」と。いうことなんで、許可になるとかそういうことは言うておられないんですね。

それはそうなんです。あの具体的な協議をしていないのです。

要は役所間の協議というのは資料データに基づいて、こういうことでどうですか、やりとりをして様々な指摘を受けてこれに対して答えをしてやって、協議が調ったら協議と言うんですよ。私前々回でしたかね、こういう形で文化庁から指摘質問事項がきているということを私読み上げましたねここでね。こういうのが名古屋市に来てるんですよ、でも名古屋市議会には示してませんよ。

私は、たまたま手に入っているんで申し上げたんですけども、それについてやはり真摯に、真摯にお答えをしていただかなければいけないのではないかとということを申し上げたいというふうに思っております。とにかくですね私は事実関係をですね、明らかにしていただきたい。私の指摘に対して違うというのであればですね、信じてるとかですね、何とかなるでしょうとかね、行われていると思いますけど。というふうな言い方はね、言わない方がいいですよ。それは語るに落ちたっていうんですよ、それ。

いかにそういうことをやってないかということ自分で白状してることじゃないですか、じゃあやってるならやってると言えればいいんです。「やってると思いますけど」というのは逃げ口上ですよ。「信じてる」とかね「許可になるでしょう」とかそれじゃ困るんですよ。

505 億円も予算を立ててね。もう 100 億円の木材も契約しちゃったんですよ、調達しちゃったんです。じゃあどうなるんですかこれ。単なる見込みとか希望とかでやったんですかこれ。税金ですよ。

いや、私はこれは不思議でしょうがないと思うんですよ、マスコミの皆さんはね私と河村さんがやり取りしている、そのことだけとらまえて面白ければいいということなんでしょうけども。そのことによってね、何ら実損、実際の損失が出なければね、笑い話で済むような話かもしれません。けども実際に今日の前です。この 100 億円を超える損害がもうまさに出そうになっている。

確実に 100 億円近いかそれを超える損害が出る、その蓋然性が高まっている危険性が高まっている。それを私はわかっていてですね。それを見て見ぬふりはできないんです。という思いで申し上げてるんです。なので事実関係を明らかにしてほしい。

ファクトを明らかにしてほしいということだけを申し上げているんです。

要は損が出なきゃいいですよ、いつものようにあーだなばとか 1000 メータータワー作るわーとかね何とか言って損害が発生して、それでも行政の長としてですね、やっぱりそりゃそこは携わる職員もはっきり言って県も市も職員も高い給料もらってるわけですからそういう人たちを使うのにその時間その人件費を含めたらそういうことやっちゃいかんと言うことは思いますけど、それはそれとして、実際の損が出ないんだらね、100 歩譲ってねその位はっていうのはあるかもしれませんが、実際に損害が出る損失が立つということになりますと、私は話は全く違ってくると思うんです。公金、税金ですからね。我々は私に河村さんに何度も言ったことあるんです。我々はね自分のお金で仕事してない。我々は人の金で仕事をしている。税金で仕事をしている。だから常に謙虚に謙虚にね、やって人の意見をよく聞いて一つ一つきっちりきっちりね、手順を踏んでいかなきゃいけないよということは申し上げているんです。

そういうことに照らしてね、今回のことがどういうふう位置づけられるのかということだと思います。だから事実関係を明らかにしてほしい。ということなんです。

ですからまあそのことを思うと、改めて申し上げたいと思います。

なおいちいち言っておられましてね「仲介はいらないと、して欲しくない」という言っておられますけど、まあそれはそういうことでそれはそうでしょう。

やっぱり私だけじゃ私およびというか私じゃなくても第三者がそこに入ればですね。

不都合な真実が明らかになってしまうから入って欲しくないんでしょう。ということですよ。間違いなく。

いや私がだから間に入って文化庁に「じゃあところでどうなってるんですか」って聞いていいですよ、聞いたらそういったらねオープンにしますよ。それは困るということでしょう、やってもらっては。それはね私はいかがなものかと思えますね。例えば名古屋城再建について天守閣部会、とか石垣部会の皆さんがおられるのだとか直接彼らが疑問があるなら直接、彼らに文化庁の担当者とやってもらったらいいじゃないですかそれ。なんでそれができないんですかね。それはそれをやられると困るからでしょう。

不都合な真実が出てくるから。協議が整っていない。一切進んでいない。目途が立たない。いつになるかわからない。もう1回抜本的に基礎的な調査をやり直せと言われていたことがわかってしまうから嫌なんでしょう。それでは私は、いかがなものかというふうに思います。

とにかく、事実関係を明らかにしてほしいということだと思います。

それから「市長を解任してほしい」というようなこともね、発言しておられるようですが実際にですね本当にこの100億円の穴を開けたらね、私はそういうことになるんだろうというふうに思いますよ。100億円、税金穴があいてね、笑って済ませる話じゃないですよこれ。今現にそれがおこってるわけですよ。だから僕はそうならないようにね、ぜひぜひ最善を尽くしてもらいたいという思いで申し上げているんです。私言ってること違ってますかね。

名古屋市大金持ちだから100億円ぐらい穴が開いても「そんなのいいじゃないの」って言って笑って済ませられます？僕は笑って済ませられないと思いますね。

それ明白というか明々白々ですよ。だって許可の目途がないのに100億円の木材を契約しちゃったんですから。私前日も申し上げたけどお金で持てればコストがかからないんですよ。お金を持っていれば。普通金利つきます、今はほとんど金利付かないけど、コストかからないむしろ金利がつく。ところが物に変えたとなんにですね。それは金利と保管料を一般に金倉がいるんです、金倉が金利倉敷。それもあんな木材みたいな嵩ものかさばるものつたら、そりゃ保管料ただで置かしてくれるようなそんな善意の方がおられるわけないじゃないですかそれ。

だから、ましてや木材は鉄とか金属のものと違って劣化していきますから。なぜ目途も立たないのに契約してしまったのかと。見切り発車なのかと。

要は、既成事実積み重ねていけば「まあそんなのいけるだろうと何とかなるだろう」ということなんですか？それはいけませんよね税金使ってるんですよこれ。

僕はそこはね、やはり、だから河村さんの責任とかなんとかという前にですね、先ほど申し上げたように100億円が全損になったらそれは当然そういう河村さん自分で言った「解任して」と言っておられますがそういう話になるんでしょう。そりゃそういう話だと思いますよ、そりゃ100億ってそんな軽い話じゃないですよこれ。

だからそうならないようにですね、最善を尽くしてほしい関係者は。で、僕もうこれあれですね、名古屋市の職員さんに申し上げたいけど、これ関係する人もそろそろ本当のこと言ってほしい、こういう事実なんだということを。そうでないとその職員の皆さんも同じように責任を問われますよこれ。そりゃそうですよね。もし仮に事実と違うことをね、彼らも言っていたということであればですよ、そりゃ責任問われることになりますよもう。

私は名古屋市の職員の皆さんも、もうそろそろ勇気を出してですね、本当の事を言ってほしい。本当のことを知りたい、事実関係を知りたいというふうに思います。

まあ、いろいろ申し上げましたけれども、私に対して何か上下関係だとか、上から目線だとかね国王だとかね何とかいろいろ何か言われていますんでね。

私はそういうこと今まで申し上げてきませんでしたけど、そこまで言われればね、あえて私もね、河村さんには敬意を込めてですね、「河村さんこそね裸の王様にふさわしい」というふうに申し上げたいというふうに思っております。

いずれにしてもですね。事実関係、事実関係を明らかにしてほしい。そりゃ皆知りたい思ってますよ。ある日、突然ですね「いや一生懸命やってきましたけども、いや文化庁は悪いでしょう、学者がいかんで、いかんでなんか出来なかったたもんでまあ 100 億円穴あいてまったわと、わあはははは」ですむんですかねこれ。濟まないですよこれ。

事実関係を明らかにしてほしい、そして、ことここに至ったらね。

被害がですね、被害が損害がもう最少になるようにね、最善の努力を尽くしてほしい。

関係者にはねと思います。

私からは以上です。

司会者：他ありませんでしょうか

大村知事：それからいいですか、あのちょっと先ほど名古屋城の河村さんの発言についてですが、もう一点だけちょっと追加して申し上げますと、これはですね、見解の相違ということじゃないと思うんですが、たびたび河村さん障害者の方はバリアフリーのことについてですね、言われておまして、先週の会見でもそのことについては非常に事細かにですね、触れておられますね「バリアフリーでなくても、人力サポートとか筋力サポートとかね、そういったものでいいのではないかと」かね。

と言われておりますが、これ私は河村さんの見解に組するものではありませんが、これ一言で言いますとね、障害者団体が「差別だ」と言っているわけですから、それをこういう形でね、何か話をはぐらかしていくというのはそれはいかがなものかというふうに思いますね。私これはやはり障害者団体の方々が「これではね我々のバリアフリーとは違うんじゃないかと。まさに差別なんだ」といって彼らが言ってるわけですから、それに対しては「いやそうではないんですよ」って正面からお答えしなきゃいけないんじゃないでしょうか。そのことはね前から感じておりました。

ですから、私はそのことについてね、これは名古屋市や河村さんが一方でけしからんとまでは言いませんが、障害者団体が差別だと、これはどうなんだと、聞いてるわけですから問いただしているわけですから、それからそれを真正面からね、お答えをしていただく私は責務があると思いますよ。

それは個人でね、それもさっきの話なんです。自分の自分の家に個人のお金で何かつけるんだつたらね。それは誰も言わないと思いますよ。個人のものだから。

けども、あれは国有地ですよ国有地を名古屋市がたまたま借りているというところで、公共の施設ですね、そこに税金を使ってやるということであればですね、私はやはりバリアフリー法はじめ様々な法律の趣旨からしてですよ、障害者基本法、障害者差別解消法、ね、それか

らバリアフリー法そういった法律の趣旨からして、やはり障害者団体の皆さんのご意見にはもう真正面から向き合ってますね、それ真摯にお答えをしていただかなきゃいけない。というふうに思いますね。

そうでなければですね、そりゃ今言ってる河村さんの発言等々もそれはあのあれですね、バリアフリーと違うんですねという話になりますね、今まさにそうですね参議院選挙の期間中でありますけどね。

だとすると河村さんが率いる減税というのはバリアフリーに反するのかと。

いうことをですね言われてもそれは仕方がないじゃないでしょうか。

そりゃ河村さんの減税と維新の公認の方を応援されておられますけれども、そりゃ障害者団体の人から見ればですね、「バリアフリーどう考えるんだと。我々障害者差別だと言ってるけどそれについてどう答えるんだ」ということにそりゃなりますよね。私はぜひ聞いてみたいですね。ああいうそのはぐらかすような言い方は私はやめていただきたいなあというふうに思います。そうでなければその、そのこと自体その発言自体はそりゃ障害者差別だというふうに言われても、仕方がないじゃないでしょうか。

というふうになると河村さんが率いておられる減税日本、それから維新の皆さんも、障害者差別だということにならざるを得ないですね。論理的にね。そのことについてはしっかりと答えしていただいた方がいいんじゃないかというふうに思っております。

はい。以上です。